

スパークタイムズ



第 11 号

平成 27 年 9 月 29 日
市議会議員 坂澤博光

平成 27 年第 4 回各務原市議会が 8 月 31 日（月）から 9 月 25 日（金）まで開催されましたので、その概要について報告します。

1 平成 26 年度一般会計決算

平成 26 年度一般会計決算、収入済額約 482 億 9,000 万円、支出済額約 456 億 5,000 万円で、次年度への繰り越しを除いた実質収支は約 24 億の黒字となりました。財政基盤の強さを示す財政力指数は 0.865（25 年度：0.862）、財政状況の余裕を示す経常収支比率は 89.3%（25 年度：83.1%）となりました。

26 年度に高くなった理由は、消費税率引き上げに伴う緩和策の臨時福祉給付金などの扶助費が増加したためで、一時的な現象だと判断しています。

地方公共団体の地方債の返済程度を示す実質公債費比率は 0.7%（25 年度：0.7%）となり、健全な財政状況を示しています。

2、平成 27 年度一般会計補正予算

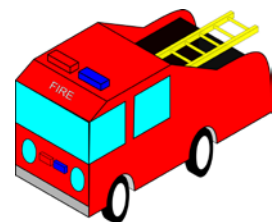
航空宇宙科学博物館リニューアルに伴い、リニューアル基本計画及び展示・建築設計、収蔵庫増設、映像制作等並びに消防士の緊急訓練用シミュレーター、災害時の避難所機能強化のためのパーテーション購入などのため 2 億 9,000 万円増額補正しました。

3 条例の改正

- (1) マイナンバー制の導入に当たり、個人情報保護条例の関係規定が改正されました。通知カード及び個人番号カードの再発行の際の手数料を定める条例が改正されました。
- (2) 伊木の森にあるフィールドアスレチックの施設利用時間の変更及び一部施設を廃止するための条例が改正されました。

4 財産の取得

消防署北分署配置予定の消防ポンプ自動車を、約 3,500 万円で取得しました。



5 スパークの一般質問

9 月 11 日（金）に一般質問しました。（質問の一部）

- (1) 地方版総合戦略（「しあわせ実感かかみがはら総合戦略」）について
 - ・問 地方版総合戦略の策定状況は。
 - ・答 6 月に各務原市人口ビジョンを策定し、「産業・雇用」「子育て・教育」「魅力向上」

の3つの基本目標を定め総合戦略の素案を決めました。この後、議会に報告、パブリックコメントを経て、10月中に「しあわせ実感かかみがはら総合戦略」として公表する予定です。

- ・問 地方版総合戦略の施策の方向性は。
- ・答 各務原航空宇宙科学博物館のリニューアル計画では岐阜県と連携し、博物館の魅力向上、機能強化を、関市、美濃加茂市、本市との広域連携では、クラウドファンディングの実施やそれに続く連携事業を進め、地域活性化を推進していきます。
- ・問 目標設定と効果検証する仕組みになっているか。
- ・答 各務原市総合計画で設定した数値目標を共有し重要業績評価指数を設定し、産業界・教育機関・金融機関などが参画する外部組織を設置し検証していきます。



(2) 10月から通知が開始されるマイナンバー制度について

- ・問 マイナンバー制度の概要並びに利点は。
- ・答 社会保障や税、災害対策の分野で効率的に情報を管理するため、住民票を有する人に一人一つの番号を付して個人を識別・連携させる制度です。
利点は、所得や行政サービスの受給状況が把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや不正な受給を防止できます。
年金や福祉などの社会保障や、税の手続きに必要な所得証明や住民票などの書類が削減され、手続きが簡単になります。
- ・問 どのようにして知らせているか。
- ・答 国がテレビや新聞等で広報していますが、本市においてもホームページや「広報かかみがはら」に記事を掲載したりしています。
また、見ることに支援を必要とする方には、国や市のホームページで音声による説明が聞けるようになっています。
- ・問 個人情報漏えい及び成りすましに対する対策は。
- ・答 国が定めるガイドラインに基づき、情報システムの接続制御、接続記録の保存、職員の限定などの対策をしています。
個人番号カード交付の際に、顔認証システムを活用し、厳格な本人確認をします。

第11回市政報告会

とき：平成27年10月24日（土）13時30から15時

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp、ホームページ：「さかざわ博光」で検索